



TITLE:

外山軍治教授の訃

AUTHOR(S):

勝藤, 猛

---

CITATION:

勝藤, 猛. 外山軍治教授の訃. 東洋史研究 1999, 58(3): 633-633

ISSUE DATE:

1999-12-31

URL:

<https://doi.org/10.14989/155251>

RIGHT:

# 彙報

## 外山軍治教授の訃

大阪外國語大學名譽教授、文學博士外山軍治先生は、平成十一年九月七日逝去された。明治四十三年の生まれ、中國風に數え年九十歳であった。大阪市の生まれであるが、本籍は徳島縣にあった。大阪府立住吉中學校、大阪高等學校を経て、昭和八年、京都帝國大學文學部史學科（東洋史學專攻）を卒業した。

羽田亨博士の指導の下、外務省文化事業部助成金を受けて滿蒙文化の研究に従事し、その集大成が『金朝史研究』である。また『岳飛と秦檜』もある。中國近代史の分野では『太平天國と上海』、モース『太平天國異聞』（譯）がある。その後、唐代史にも研究を進め、『隋唐世界帝國』『顏真卿』『則天武后』などを世に送った。書道にも造詣深く、『書道全集』に執筆した文を集めた『中國の書と人』『同Ⅱ』がある。

本誌の初期の寄稿者であり、かつ二十餘年にわたり、評議員として本會に貢獻した。

十一月三日（祝）京大會館において開催。講演十件（各講演の要旨は本號一九四～一九九頁に掲載）。なお、總會にて會計報告、會務報告、事業報告を行い、承認を得た。

## 學界動靜

### 京都大學羽田記念館關係

羽田記念館講演會

於羽田記念館

第四十二回 十一月二〇日（土）

ウィグル語譯『千字文』について

新疆大學副教授

アブドラシテイ・ヤコブ

デジタル化時代の文獻研究—インド學を事例として—

京都大學大學院文學研究科教授

徳永 宗雄

大學院

特研 中國古代史の諸問題

## 學習院大學東洋史關係

平成十一年度東洋史關係講義題目

學部

基礎演習B

第一學期 アジア社會論を読む

武内 房司助教授

第二學期 中國考古學と文獻史料

鶴間 和幸 教授

概説 第一學期 中華帝國の世界

鶴間 和幸 教授

第二學期 清朝と周邊世界

武内 房司助教授

特講 十八～十九世紀の雲南

武内 房司助教授

清末民國初中國の政治と社會

高柳 信夫助教授

朝鮮近世の地域と人

吉田 光男 講師

秦漢帝國の遺産

鶴間 和幸 教授

近代インドの社會變容

關根 康正 講師